

授業科目等の概要

(文化・教養専門課程　こども保育科昼間Ⅰ部) 2025年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配 当 年 次 ・ 学 期	授 業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企 業 等 と の 連 携
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
○			英会話Ⅰ	学生の英語学習に対する興味を高くし、海外文化についての理解を深めたり、英語コミュニケーションスキルを習得できるようになる。	1 年 後 期	30	2	○			○			○	
○			英会話Ⅱ	日常英会話から、保育に必要な英会話などを習得できるようになる。	3 年 後 期	30	2	○			○			○	
○			健康科学	スポーツ活動との関連の中で健康や体力に関する知識を習得できる。	1 年 前 期	15	1	○			○			○	
○			生涯スポーツ	各種スポーツの技能向上やスポーツ発展史を学び、実践することができる。	1 年 前 期	30	1	○			○			○	
○			情報処理入門Ⅰ	Word・Excel・PowerPointのオフィススイートの基本操作を習得できる。	1 年 後 期	30	2	○			○			○	
○			日本国憲法	憲法の基礎知識について学び、法的、論理的に自らの意見を述べる力を身につけることができる。	2 年 前 期	30	2	○			○			○	
○			職業人教育Ⅰ	学校行事への企画力や社会人としての基本的マナーを身につけ、対人援助職にふさわしい人間性を養う。	1 年 通 年	60	4	○			○		○		
○			職業人教育Ⅱ	学校行事への企画力や社会人としての基本的マナーを身につけ、対人援助職にふさわしい人間性を養う。	2 年 通 年	60	4	○			○		○		
○			職業人教育Ⅲ	学校行事への企画力や社会人としての基本的マナーを身につけ、対人援助職にふさわしい人間性を養う。	3 年 通 年	60	4	○			○		○		
○			幼児と音楽表現	音楽技術（ピアノ・声楽）の習得や資質の向上を目指すことができる。	1 年 前 期	15	1		○		○			○	

○			音楽表現技術	音楽技術（ピアノ・声楽）の習得や資質の向上を目指すことができる。	2 年 前 期	15	1		○		○				○	
○			幼児と造形表現	絵画・立体造形・色彩と構成に関する基礎知識と表現技術を学び、実践できる。	2 年 前 期	15	1		○		○				○	
○			教育心理学	心理学の視点から子どもへの関わりを理解できる。	1 年 前 期	15	1	○			○				○	
○			健康（指導法）	子どもの健康に必要な知識とその指導、援助の技術を習得できる。	1 年 前 期	15	1	○			○				○	
○			人間関係（指導法）	人との豊かなかかわりを育てる保育者としての視点を持つことができる。	1 年 前 期	15	1	○			○				○	
○			幼児と健康	乳幼児期の健康に関わる教育・保育内容とその方法を習得できる。	2 年 前 期	15	1		○		○				○	
○			造形表現（指導法）	幼児の造形の発達に関する内容や実践的な表現活動の研究・適切な援助・教育を習得できる。	1 年 前 期	30	2		○		○				○	
○			音楽表現（指導法）	手あそび・リズムあそびなどの音楽表現を実践できるようになる。	1 年 前 期	15	1		○		○				○	
○			環境（指導法）	子どもの自然とのかかわりを深める保育の実践的指導能力を習得できる。	1 年 前 期	15	1		○		○				○	
○			幼児の心理学	心理学の視点から子どもへの関わりを理解できるようになる。	1 年 後 期	15	1	○			○				○	
○			言葉（指導法）	言葉の理論を理解し、子どもの言葉をはぐくむ実践力を身につけることができる。	1 年 後 期	15	1	○			○			○		
○			社会福祉	社会福祉の歴史的展開を把握し、今後の課題について展望することができる。	1 年 後 期	30	2	○			○				○	
○			子ども家庭福祉	現在の児童家庭福祉に関する理解を深めることができる。	2 年 前 期	30	2	○			○				○	

○			保育原理	保育の意義や思想、歴史的変遷を理解し、他者に伝えられるようになる。	2 年 前 期	30	2	○			○			○	
○			社会的養護Ⅰ	社会的養護の現状および課題について理解し、自分の考えや意見を述べることができる。	1 年 前 期	30	2	○			○			○	
○			社会的養護Ⅱ	児童養護施設における目的と機能、擁護プログラムの展開、児童処遇について理解できる。	2 年 前 期	15	1	○			○			○	
○			子ども家庭支援論	家庭や地域社会への援助の必要性とその方法を学び、実践に繋ぐことができる。	2 年 後 期	30	2	○			○			○	
○			教育原理	教育に関する歴史や諸問題を学び、様々な視点から教育について考える力を習得できる。	1 年 前 期	30	2	○			○			○	
○			障害児保育	子どもの心身、脳の発達、知的・身体的障害について理解を深め、障害児の保育的援助を習得できる。	2 年 後 期	15	1	○			○			○	
○			幼児の特別な支援	子どもの心身の様々な障害について理解を深め、障害児の保育的援助を習得する。	2 年 後 期	15	1	○			○			○	
○			子どもの食と栄養	小児期における心身の発達段階に応じた栄養法、食教育を学び実践できる。	2 年 前 期	45	3	○			○			○	
○			子どもの保健	現場で保健的な視点を持ち、保育にあたるようになる。	2 年 後 期	30	2	○			○			○	
○			子育て支援	相談援助活動（社会福祉援助術）の基礎が習得できる。	2 年 前 期	15	1	○			○			○	
○			劇あそび（指導法）	体の動きで様々な表現ができるよう指導・援助法を学び、指導ができるようになる。	1 年 前 期	15	1	○			○			○	
○			保育の心理学	心理学の観点から乳幼児への関わりについて学び、実践に繋ぐことができる。	2 年 後 期	30	2	○			○			○	
○			子ども家庭支援の心理学	心理学の観点から家庭支援に関わる知識を学び、現場で実践できるようになる。	3 年 前 期	30	2	○			○			○	

○			教育課程総論	教育課程・保育計画の編成や長期・短期の指導計画の作成方法が理解できる。	1 年後期	30	2	○			○			○	
○			教育方法論	指導案作成、模擬保育等を通し教育者になることへの意識を高めることができる。	1 年前期	60	4	○			○			○	
○			教職概論	教師・保育者の意義と役割、仕事内容と専門性を身につけることができる。	1 年後期	30	2	○			○			○	
○			保育内容総論	保育内容の全般を理解し、具体的な保育実践ができるようになる。	1 年前期	15	1	○			○			○	
○			教育相談	子どもや家族への支援スキルの基礎を学び、実践ができるようになる。	2 年後期	60	4	○			○			○	
○			幼児と言葉	子どもの言葉に対する感覚や言葉で表現する力を習得することができる。	1 年前期	15	1	○			○		○		
○			幼児と人間関係	子どもが他の人々と親しみ支え合って生活するための、自立心について理解できる。	1 年前期	15	1	○			○			○	
○			幼児と環境	様々な環境に好奇心や探求心をもって関われるような実践力を身につけることができる。	1 年前期	15	1	○			○			○	
○			保育・教職実践演習	保育現場で求められる実践力を学び、現場に活かすことができる。	3 年前期	30	2		○		○			○	
○			教育実習事前事後指導	幼稚園の機能や内容、教育実習の目的や意義を理解し、現場で発揮できる。	2 年後期	15	1	○			○		○		
○			教育実習Ⅰ	幼稚園で見学・観察・参加・指導実習を行い、保育力を修得することができる。	2 年後期	80	2			○		○	○		
○			教育実習Ⅱ	幼稚園で見学・観察・参加・指導実習を行い、保育力を修得することができる。	3 年後期	80	2			○		○	○		

○		児童文化	子どもにとっての遊びを豊かに展開するために必要な知識や技術を習得できる。	3 年 前 期	30	2	○			○			○	
○		乳児保育Ⅰ	3歳未満児の成長発達・保育の内容・実践の方法を習得できる。	2 3 年 後 前 期	60	4	○			○			○	
○		乳児保育Ⅱ	3歳未満児の成長発達・保育の内容・実践の方法を習得できる。	3 年 前 期	15	1	○			○			○	
○		子どもの健康と安全	子どもの生命と健康を守るための実践力を身につけることができる。	3 年 前 期	15	1	○			○			○	
○		保育実習事前事後指導Ⅰ（保育所）	保育所実習を円滑に行うために必要な事柄を学習し、実習で発揮できる。	2 年 前 期	15	1	○			○		○		
○		保育実習Ⅰ（保育所）	保育現場において、生きた保育技術を修得することができる。	2 年 前 期	80	2			○		○	○		
○		保育実習事前事後指導Ⅰ（施設）	施設実習を円滑に行うために必要な事柄を学習し、実習で発揮できる。	3 年 前 期	15	1	○			○			○	
○		保育実習Ⅰ（施設）	施設擁護に関わる職務・役割を実践的に学び、技術を修得することができる。	3 年 前 期	80	2			○		○		○	
○		保育実習事前事後指導Ⅱ	保育実習Ⅱを円滑に行うために必要な事柄を学習し、実習で発揮できる。	3 年 前 期	15	1	○			○		○		
○		保育実習Ⅱ	保育実習Ⅰで学んだことを実践に繋げ、技術の向上をはかることができる。	3 年 前 期	80	2			○		○	○		
○		卒業制作	各自でテーマを設定し、課題に取り組みプレゼンテーションができる。	3 年 後 期	60	4		○		○		○		○

○			ピアノ基礎Ⅰ	楽譜の読み方や、弾き方などピアノの基礎的な技術を身につけることができる。	1年 通年	60	4		○		○				○	
○			ピアノ基礎Ⅱ	楽譜の読み方や、弾き方などピアノの基礎的な技術を身につけることができる。	2年 通年	60	4		○		○				○	
○			ピアノ応用	子どもの歌や簡単な伴奏法を身につけ応用できるようになる。	3年 通年	60	4		○		○				○	
○			保育教材研究Ⅰ	子どもの成長に相応しい教材を知り、製作や実践を通して保育力の基礎を身につけることができる。	1年 通年	60	4		○		○				○	
○			保育教材研究Ⅱ	子どもの成長に相応しい教材を知り、製作や実践を通じて保育力の基礎を身につけることができる。	2年 通年	60	4		○		○				○	
○			ふれあい実習Ⅰ	学生が主体となり、実際に子どもと関わることで、実践的な保育力を習得することができる。	1年 通年	60	4		○		○				○	
○			ふれあい実習Ⅱ	学生が主体となり、実際に子どもと関わることで、実践的な保育力を習得することができる。	2年 通年	60	4		○		○				○	
○			ふれあい実習Ⅲ	学生が主体となり、実際に子どもと関わることで、実践的な保育力を習得することができる。	3年 通年	60	4		○		○				○	
○			実習プレ	実習に向けて、実習日誌の書き方から指導案の作成など、必要な知識と技術の習得ができる。	2年 通年	60	4		○		○				○	
○			保育ゼミ	様々な保育現場で役立つ知識や技術を身につけることができる。	3年 通年	60	4		○		○				○	○
○			キャンプ実習	キャンプインストラクターの資格取得を目指し、安全指導や対人力を習得することができる。	2年 後期	30	2		○		○				○	
○			幼児体育指導	資格取得を目指し、子どもに対しての体育や運動遊び指導の技術を身につけることができる。	2年 後期	15	1		○		○				○	
○			リズム運動あそび	リズム運動を通じて発達やあそびの形態を実践できるようになる。	1年 前期	30	2		○		○				○	

[illegible]

(留意事項)

2 企業等との連携については、実施要項の3（3）の要件に該当する授業科目について○を付すこと。